

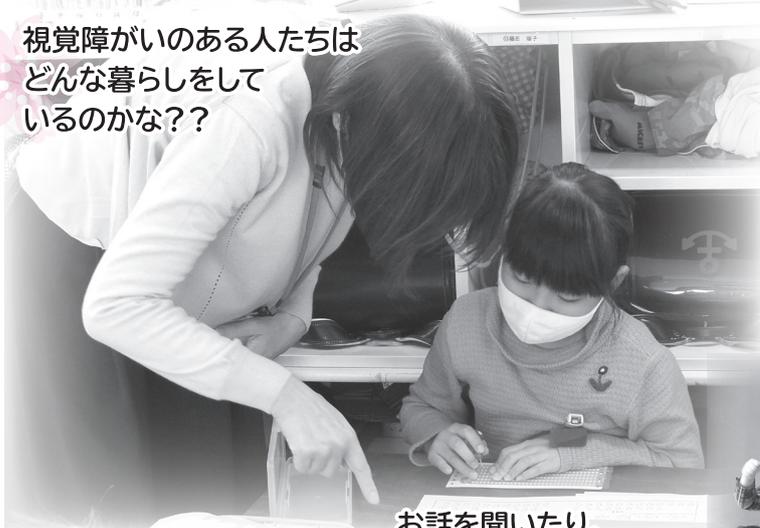
しゃきよう

しゃきよう

社協は**社会福祉協議会**の略称です。みなさん「しゃきよう」と呼んでください。
社協はだれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめています。

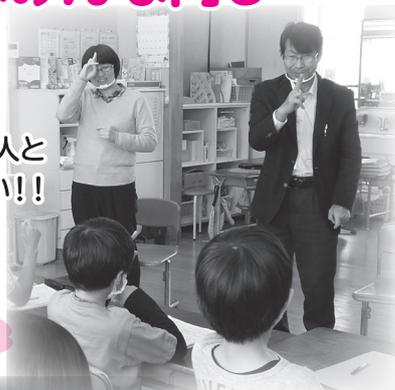
障がいがあってもなくても 幸せになりたい 気持ちはみんな同じ

視覚障がいのある人たちは
どんな暮らしをして
いるのかな??



お話を聞いたり、
自分の名前を点字で打って
名刺を作りました。

聴覚障がいのある人と
手話で話してみたい!!
「こんにちは」
「はじめまして」



もっとたくさん
手話を覚えて
仲良くなりたいなあ。

気配り や **思いやり** を持って
優しい気持ちを広げよう

もくじ

- ・第五次地域福祉活動計画について ②③
- ・地域福祉活動紹介、福祉教育について
福祉協力員活動日記 ④⑤
- ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金ご協力のお礼、
ボランティア活動保険について
やすらぎの里農園利用者募集 ⑥
- ・ボランティア養成講座のご案内、寄付者紹介 ⑦
- ・暮らしの声、プレゼントクイズ ⑧

山形市社協
LINE公式アカウントができました!
ぜひお友達登録をお願いします。

登録は**①②** 2つの方法があります。

①QRコードを読み取り
「友だち追加」



②ID検索からIDを検索して「友だち追加」
@280wvnda

ブログ・facebook更新中
<https://www.yamagatashishakyo.or.jp>
様々な活動や発刊物などがご覧いただけます。

誰もが安心して暮らせる福祉のまち やまがた



社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

〒990-0832
山形市城西町二丁目2番22号
TEL 023-645-8061 FAX 023-645-9236

第五次 地域福祉活動計画がはじまります！

計画の期間
令和3年度～7年度

「地域福祉活動計画」とは、社会福祉協議会が呼びかけて、住民や福祉関係機関・団体等が相互に協力して策定する地域福祉の推進を目的とした活動・行動計画です。

自分が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるまちづくりのために、何が必要かその解決のために私たちに何ができるのかを考えていくのがこの計画です。

地域福祉活動計画とは別に、山形市が策定する地域福祉計画があります。

「山形市地域福祉計画」は、社会福祉法107条に規定される「市町村地域福祉計画」であり、地域における高齢者、障がい者、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項が記載される、山形市の地域福祉を総合的に推進する計画です。

また、この計画は「山形市発展計画2025」を上位計画とした、山形市の地域共生社会の実現を目指す計画です。



福祉文化とは…

助けあい、支えあう福祉の心が人々の生活に溶け込み根つき、それが文化として受け継がれていって欲しいという願いが込められた言葉です。

福祉活動を行う地域住民やボランティア団体、NPO、社会福祉施設・機関等を中心とした住民主体の活動・行動計画として、山形市社協と山形市が策定するそれぞれの計画と相互に連携を図り、車両の両輪となって地域福祉の充実を図っていきます。

基本目標

身近な地域の中で
みんなが「つながる」まちやまがた

～地域の中でみんなと一緒にスローガンを～

20-カ 1

わたし・わたしたちは、役割をもって活動します

誰もが地域の一員であることを自覚し、地区活動に参加できるよう、また若い年代が参加できるよう取り組んでいきます。町内会活動などを整理し、だれでも参加できる地区活動であるよう進めていきます。

20-カ 2

わたし・わたしたちは、すべてが「つながり」あって活動します

同じ地域に暮らす住民同士が日常的に関わりを持ち、顔と顔が「つながること」、認知症や障がいがあっても地域で安心して生活が「おくれるよう」、支えあい助けあえる「ように」していきます。また、企業や施設、学校等多機関で協力しあい、地域の課題や問題に対する解決に向け取り組んでいきます。

20-カ 3

わたし・わたしたちは、まるごと「一丸」となって活動します

地域や住民の困りごとに対し、相談機関を明確にし、自分の困りごとを発信でき、他者に目を向け助けあえる「しくみ」を作ります。障がいや病気を理解し、他人事「せず」みんなが「まるごと」一丸となって支えあえる地域に「していきます」。

住民一人一人が自分の地域の課題を我が事としてとらえ、地域の中で丸ごとで取り組めるよう、地区特性と地区の課題を踏まえた地区の住民のための市内30地区別「地区地域福祉活動計画」を作成していきます。

目指しているのは **地域共生社会** の実現です。

地域共生社会とは…

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがいや、地域をともに創っていく社会の事です。[出典:厚生労働省ホームページより]



子育ておしゃべりサロンはママたちの憩いの場。(市社協)



いつまでも体力を維持するためにみんなで歩いています。



支え・支えられる関係の循環 ～誰もが役割と生きがいを持つ社会の醸成～

- ◇居場所づくり
- ◇社会とのつながり
- ◇多様性を尊重し包摂する地域文化



- ◇生きがいづくり
- ◇安心感ある暮らし
- ◇健康づくり、介護予防
- ◇ワークライフバランス

すべての人の生活の基盤としての地域

- ◇社会経済の担い手輩出
- ◇地域資源の有効活用、雇用創出等による経済価値の創出

地域における人と資源の循環 ～地域社会の持続的発展の実現～

- ◇就労や社会参加の場や機会の提供
- ◇多様な主体による、暮らしへの支援への参画

すべての社会・経済活動の基盤としての地域



男の料理教室
地域の中華料理店の方を講師にマーボーなす丼作り挑戦!!(金井地区)



地元企業と町内会、高校生の連携による除雪活動(第七地区)

次号以降、各スローガンの詳しい情報をお届けします。

現在、第五次地域福祉活動計画の冊子やダイジェスト版、

DVD 等制作中です。

地域福祉活動紹介

住みやすい第二地区のために

みんなで地域福祉活動に貢献

冬は除雪が悩みの種。第二地区では毎年、近隣住民の助け合い活動に加え、山形学院高等学校や山形市立第三中学校登録ボランティアのみなさんによる、除雪ボランティアの活動があります。若いパワーに感謝です。

第二地区社会福祉協議会（鈴木壽子会長）では、我が事・丸ごとの地域づくりの精神で除雪車の入れない階段に「善意のスcoop」を設置し、通勤・通学の方々にも協力を呼びかけています。「第二地区粋々男塾」のメンバーがボックスを作成してくれました。粋々男塾の障子張りボランティア活動も本当に助かっています。

冬だけでなく、夏の草刈りや秋の落ち葉拾いなど、ふだんのからしのしあわせのために、子どもから大人までみんなで地域福祉活動を行っています。



地域住民と山形三中生が集めた落ち葉は、ゴミ袋60袋にもなりました。

山形学院高校生の除雪ボランティア活動



「善意のスcoop」を見つけたら、思いやりのひとかき活動をよろしくお願いします。



一人暮らしの方への障子張りボランティア活動



夏場の高齢者宅の草刈りボランティア活動

福祉協力員活動日記

No.5

わたしたちの身近な地域での福祉協力員活動を順次ご紹介していきます。

明治地区

- 世帯数 625世帯
- 高齢化率 34・1%
- 福祉協力員数 22人

サロン活動や通いの場の運営にも携わっている福祉協力員から、百歳体操の時などに使うプロシエクターの使い方が分かっていく、活用されていない現状があるとの声を受け、プロシエクターの使い方講座を開催。コードに分かりやすくテープを張るなどの工夫もあり、実際に接続してみました。やってみると「思ったより簡単」との声が。「サロンでも使えそう」「テープが貼ってあって分かりやすい」と大変好評でした。サロン活動にも、新しい内容が加わり活用の幅が広がります。



大曾根地区

- 世帯数 432世帯
- 高齢化率 41・6%
- 福祉協力員数 8人

令和2年度はコロナウィルス感染症拡大防止のために、一堂に会しての会議・研修会開催がほとんど見送られました。そのような中でも町内会役員や民生委員児童委員との情報共有を行いながら見守り・声かけ・訪問活動を行ってきました。隣近所同士のお茶飲み機会も減ってきている中で、福祉協力員からの「お変わりありませんか」の一言がとても心強かったとの声も聞かれました。また、例年開催している、福祉マップ作成・更新研修については、各町内で三者懇談会を開催しながら最新の情報を共有できるようにしました。コロナ禍でも、地域住民のつながりが途切れないように心がけて活動をすすめています。

「ともにもに生きる力」を育む福祉教育

山形市社協では、昭和56年から小中高校を対象に、社会福祉への理解と関心を高めるための体験の場を持ち、助けあい・支えあう地域社会づくりを推進していくための福祉教育校指定事業を行っています。

今年度も、小中高校26校が福祉教育校として活動します。

昨年度はこのような活動がありました。



水中メガネで手作りした特殊メガネを使って高齢者疑似体験。



じゃんけん
鬼決めよう

じゃんけん
見えないじゃん!

あっ
そっか

アイマスクをつけて、みんなで遊んでみよう！
どんな遊びができるかな？



福祉教育応援ブックを活用下さい。

プログラムづくりのポイントや取り組み事例の紹介等を行っています。

ボランティアセンターでは地域や学校、職場での福祉学習のお手伝いをしています。

ボランティアや福祉に関する学習のお手伝いや出前講座の開催、障がいの体験学習など幅広い要望にお応えしています。福祉教材の貸出・各種資料の提供（要申込）・講師や地域福祉活動の紹介なども行っています。

相手を思いやる気持ちや、お互いに助けあい、支えあう生き方を知ったり、気づいたりする学びの機会は子どもの頃から大切です。

大人も子どもも自分の生活や身近な地域に関心をもち、自分たちのできる活動から参加してみませんか？
ご連絡お待ちしております。

お問い合わせ

山形市社会福祉協議会
ボランティアセンター

TEL 0233-645-9233

FAX 0233-645-9236

https://www.yamagatashinkyō.or.jp/

南沼原地区

- 世帯数 6782世帯
- 高齢化率 27・1%
- 福祉協力員数 103人

コロナ禍においても、高齢者宅へ安否確認や様々な情報提供しながらの見守り訪問活動を続け、新しい生活様式でのサロン・通いの場の活動にも精神的に取り組みでおります。

また研修会は「地域で備える防災」をテーマに開催し、町内会での備えや自助の重要性について再認識しました。今後、三者懇談会等で町内会の災害時の取り組みを再確認し、地域の皆様への普及啓発について検討を進めていきます。



飯塚地区

- 世帯数 1094世帯
- 高齢化率 34・1%
- 福祉協力員数 29人

新型コロナウイルス感染症の問題が起きてから一年になりました。



色んな行事も無くなり、百歳体操を楽しみに参加して下さっていた方々も、史跡めぐりをしながら歩くなど二回程お散歩イベントで身体を動かすことができました。皆さん本当にお元気！

他にもバスの乗り方を覚えるため、ベニちゃんバス西くるりんでもみじ公園に行きました。皆さん実際に乗ってみて「参加して良かった」と、とても嬉しそうでした。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願うばかりです。

※福祉協力員は、担当地域の方々への見守り・声かけ・訪問活動を行っているボランティアです。



次号の福祉協力員活動日記もお楽しみに!!



たくさんの
温かい気持ちが
集まりました

■共同募金運動募金額 (令和2年10月～令和3年1月)

募金総額	43,375,395円
赤い羽根共同募金	34,599,878円
歳末たすけあい募金	8,775,517円

赤い羽根共同募金運動は昭和22年に「困ったときはお互いさま」の気持ちから運動がスタートしました。現在では地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組み民間団体を支援する「自分の町を良くするしくみ。」として地域のさまざまな福祉活動に使われています。

赤い羽根共同募金・
歳末たすけあい募金
ご協力ありがとうございました

ボランティア活動保険に
加入しましょう

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。活動前にぜひご加入下さい。
保険料は年額350円から加入できます。

補償期間(保険期間)

令和3年4月1日午前0時から令和4年3月31日午後12時までとなります。

年度途中の加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から令和4年3月31日午後12時までとなります。

補償金額(保険金額)

保険金の種類	ご加入プラン・補償金額	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)
	入院保険金日額	6,500円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円
	通院保険金日額	4,000円
	賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通) 5億円(限度額)
年間保険料	基本タイプ	350円
	天災・地震補償タイプ	500円

ケガの補償



清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。

賠償責任の補償



家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。

ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。



自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。



詳しくは、

山形市社会福祉協議会

ボランティアセンターまで

TEL 023-645-9233

「やすらぎの里農園」利用者募集

社会福祉法人妙光福祉会やすらぎの里金井(柳生法雄施設長)では、地域貢献のひとつとして、山形市内にお住いの方々々に施設内農園を開放しています。農作業を通じて皆さまの健康増進の為にご利用ください。



おいしい野菜づくります

利用期間

令和3年5月1日(土)～令和3年12月31日(金)

農園

ケアタウンやすらぎの里 金井敷地内

対象

山形市内にお住まいの方

区画面積

約10坪(20区画)

利用料

無料(年1回耕します)

申込方法

ハガキに①氏名、②住所、③電話番号、④農園利用のご記入の上、左記郵送先までご郵送下さい。

受付期間

令和3年4月5日(月)～10日(土)

郵送先

〒990-0878
山形市内表東1番地
ケアタウンやすらぎの里金井

問合せ先

TEL 023-681-5711(柳生)

※コロナ禍の影響により、例年と異なる受付方法となります。事前にご承下さい。

ボランティア養成講座

電話で
お申込み
ください

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、日程や内容が変更になる場合がございます。

山形市手話ボランティア養成講座

聴覚障がいやその方々の生活及び福祉制度等を理解し、
日常会話に必要な手話語彙(ことば)と手話表現を学びます。

開催期間

令和3年5月19日(水)～
令和4年2月16日(水)
毎週(水) 午後7時～午後9時
全40回講座(祝日・お盆・年末年始を除く)

内容

- ・ 伝え合ってみましょう
- ・ 自己紹介をしましょう
- ・ 話してみましよう
- ・ 話し合ってみましよう

会場

山形市総合福祉センター
3階会議研修室1
(山形市城西町二丁目2-22)

参加費

8,300円(テキスト代、講師料等)
締め切り 4月23日(金)まで

対象者・定員

山形市在住で、初めて手話を
学ぶ方。
全日程参加可能な方先着20名



【聾(ろう)体験】
雑音の流れるヘッドホンをつけ
聞こえない体験。

第35回 ボランティアスクール～傾聴講座～

傾聴力を高めコミュニケーションを楽しみましょう。

開催期間

6/2(水) 開講式 オリエンテーション
6/9(水) 色彩心理セミナー
6/16(水) 音楽療法体験
6/23(水) 「心を開く話し方、聞き方」入門編
6/30(水) 「心を開く話し方、聞き方」応用編
7/7(水) 高齢者擬似体験
7/14(水) 車いす体験
7/21(水) 知的障がい・発達障がい擬似体験・閉講式

会場

山形市総合福祉センター
3階会議研修室1
(山形市城西町二丁目2-22)

対象者・定員

ボランティア活動に関心のある方で、全日程参加可能な方先着10名

参加費

無料
締め切り 5月14日(金)まで

お問合せ・申し込み先

山形市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL 023-645-9233
FAX 023-645-9236
月曜日～金曜日 午前9時～午後5時



【色彩心理セミナー】
色の意味はひとりひとり違います。

自由に色を塗って
自分を表現しよう

やさしいきもちを

ありがたいきもちを

みなさんからのご厚志に対して、心より厚く御礼申し上げます。ご寄付につきまして、令和2年12月1日から令和3年2月28日までの分を掲載いたします。(敬称略・順不同)

山形市社会福祉基金

- ・ 宗教学人真如苑
- ・ ㈱ハーバー
- ・ コーポレーション
- ・ めん蔵 + GOMAZO
- ・ 亞呉屋 山形本店
- ・ 亞呉屋 山形駅前店

山形市社協新規会員紹介

- 賛助会員
- ・ 面会交流支援センター やまがた(虹の会)
- ・ 須田淳子
- ・ ㈱近畿日本ツーリスト 東北山形支店
- ・ 匿名

山形市善意銀行

- 現金預託
- ・ 若草スポーツクラブ
- ・ 高橋エヨ子
- ・ ㈱夢グループ
- ・ 第一生命保険(株) 山形支社
- ・ 真宗大谷派山形教務所

物資・労力

- ・ マツダ電気販売(株)
- ・ 高橋エヨ子
- ・ ひらつか保育園
- ・ 早坂和子
- ・ 生活協同組合共立社
- ・ 三井住友海上火災保険(株)
- ・ ㈱ニラク吉原店
- ・ スーパー1円劇場山形店
- ・ スーパー1円劇場上山店

会費

- 個人 三,〇〇〇円以上
- 団体 一〇,〇〇〇円以上
- 法人 一〇,〇〇〇円以上

ご協力下さる方へ

恐れ入りますが、次の連絡先までご連絡ください。
必要な手続きをお伝えします。

寄付および賛助会員の募集

TEL 023-645-9230
FAX 023-645-8015

- 読むたびに自分は何ができるのかと考えさせられます。できることから取り組んでいきたいと思えます。(20代)
- コロナ禍の中にあっても少しずつ地域の活動が再開され嬉しく思います。周りの人たちとの関わりが薄くなってしまうことはとても淋しいことです。こういう時だからこそ、互いに支えあう心を大切にしたいものです。(60代)
- 地域の活動紹介読ませていただき、幅広い活動、昨年からのコロナウイルス感染症予防のため、自宅ですることが多い中で声がけ、寄り添った活動など、どの地区の方々も町内の皆さんの事を考えてくださりありがたかったです。感謝申し上げます。(60代)
- LINE公式アカウントができたのを知り、登録して活用していきたいと思いました。(20代)
- いつもこの「たより」は見ずにスルーでした。でも今回は隅々まで読ませていただきました。「これも」コロナのせい「色々福祉の事がふんだんに盛り込まれていて、読むべき「たより」と実感しました。(20代)

しゃきょうだより

市民の皆様から
いただいた声を、
ひとつひとつ大切に。

4月

たくさんのご感想をいただきました！
その一部をご紹介します！

ちがうところはどこ？

上と下の絵で5コのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？ 1月号(vol.167)答え

- ①おばあちゃんの眼鏡 ②花の数
- ③植物の上の青虫 ④女の子の髪ゴム
- ⑤女の子の手 ⑥赤ちゃんのスタイ
- ⑦おじいちゃんの時計のベルトの色
- ⑧おじいちゃんのヘッドホン
- ⑨おじいちゃんの髪型 ⑩鳥の翼
- ⑪猫の舌 ⑫背景のギターの角度



愛ちゃんと希望くん。

クイズに答えて Present プレゼント!

山形市総合福祉センター
「かすみが温泉」
利用券(4名分)
抽選で20名様

○に当てはまる文字を入れてください。
ヒントは表紙をよくみてね

クイズ：誰もがみんな持っている気持ちは？

「○○○○○○○○気持ち」

●応募方法/クイズの答えと必要事項を記入し、ハガキまたはメールでご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。

●宛先/〒990-0832 山形市城西町二丁目 2-22 社会福祉法人 山形市社会福祉協議会 「地域福祉係」あて

●メールアドレス voravora@yamagatashishakyo.or.jp

応募フォームは
こちらから→



●締切/令和3年4月30日(金)(当日消印有効)

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④年齢
- ⑤電話番号 ⑥「しゃきょうだより」の感想



1月号(Vol.167)クイズの答え
『内閣総理大臣表彰』

社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は7月号です。